

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「知らなかったメリット」

朝夕少しずつ涼しくなり季節の変わり目を感じる頃となってきた。

今回は、私の担当している全日教連は八月十九日(月)、都市センターホテル(東京都)において次期リーダー研修会を開催した。私は、積立年金制度の担当として説明に熱が入り、予定の時間を越え、司会から注意をされるほどだった。しかし、参加者からは、「積立年金制度のことがよく分かった」とや「原井次長は、保険屋さんですか」という感想が寄せられた。

先日、厚生労働省より厚生年金の財政検証結果が公表された。要約すると二十八年後、つまり今の若い世代が老後を迎える時には、今の厚生年金給付水準(現役世代の現在の給与の約六割)より低い水準となることが分かった。今の現役世代の給与水準の約五割以下であることが報道された。一方、日本人の退職後の平均余命は延び続け、男性約二十三年、女性約二十九年となり老後資金の確保の必要性が高まっている。

そこで、全日教連共済会の積立年金制度をお薦めしたい。この積立年金制度の一番のメリットは、一・二六%という高い予定利率である。さらに、その年の運用成績によって配当金も加算される。また、教育費や住宅費等、急に大きな資金を必要とする時には、途中で払い出すことも可能である。年に二回口数の変更も可能で、その時の生活に合わせた積立を行うことが可能である。申し込みも手軽にでき、所定の申込書に必要事項を記入・押印して提出するだけである。会員とその家族の生活を豊かなものにする一助として是非、御検討をしていただき全日教連(香教連)会員のメリットを実感していただきたい。次回の募集は、十月から十一月末までになる。是非、御検討下さい。

先生のための マネープランコラム

ファイナンシャルプランナーからのお便り
「いつのまにか後進国?⑨」

今回は、前回でも取り上げました、いわゆる「老後二〇〇〇万円」の報告書について触れたいと思います。まず、この二〇〇〇万円がどう計算されたかです。簡略に説明すると、仕事をリタイアされた後に、受け取ることが出来る年金と、生活に必要な金額の差額が月に約五万円とします。年



年とすると、約一三〇〇〇〜二〇〇〇万円が不足する・・・というものです。この報告書にも書かれていましたが、これはあくまでも平均の不足額から出したもので、それぞれの資産や収入、ライフスタイル等によって大きく異なってきます。

とても大事なことは、まずそれぞれの方が、「どのようなライフプランを想定するのか」、「収支や資産はどうなるのか」、など自分自身の状況を『見える化』することです。そして、自分自身が描いたライフプランを実現するための対策を考え、実行することだと私は思います。

特別な対策をしなくても、今ある資産と退職金と年金で老後を過ごせる方もいらっしゃると思います。ちょっとリッチな老後を過ごしたい方は今から対策をたてた方がいいかもしれません。その『見える化』のお手伝いを、私達ファイナンシャルプランナーが行っています。

FPPラボ代表 伊藤祐一



香川県教職員連盟 Facebook開設中!



- 六日 第五回講師部研修会(教育会館)
- 八日 全日教連二役会(都ホテル岐阜長良川)
- 九日 全日教連本部役員会(長良川国際会議場)
全日教連第二二回執行委員会(長良川国際会議場)
- 十日 第三十六回全日教連教育研究全国大会(岐阜大会)
場:都ホテル岐阜長良川
記念講演:内藤 大助 氏
「いじめられっ子のチャンピオンベルト」
- 一七日 香管協夏季セミナー(サンポートホール高松)
- 一九日 全日教連次期リーダー研修会(都市センターホテル他)
- 二四日 第三回会長・事務局長会(教育会館)
第四回中堅教員研修会(教育会館)
- 二八日 東かがわ市教委要望(東かがわ市役所)
※大教協に帯同
- 三〇日 さぬき市教委要望(津田支所)
※大教協に帯同

